

本号は「女のドラマ」の系譜特集として、能から近松に至るまでの五編の論文と、その方法は異なるが近松門左衛門の後期時代浄瑠璃を対象にした修士論文の一部をまとめた田中論文、同志社大学の仲間で調査発見した洛東遺芳館本『源平軍論』の翻刻・解題（山田）及び、かつて同志社大学大学院特別学生として在学し、現在は Visiting scholar として在籍中のシェリー・フェノの世阿弥の能楽論『三道』に関する論文を収めた。全体としても、日本演劇史に関わるものである。

いずれも、まだ未熟ではあるが、ささやかながらに新しい視点での切れ味を見せているものと自負している。大方の御叱正を待ちたい。

安永武人名誉教授の御著書については、本学文学部英文学の有馬教授をわずらして、紹介していただいた。洛東遺芳館館長香川聖一氏には、『源平軍論』の翻刻を御快諾いただいた。記して深謝申し上げます。（向井芳樹）

同志社国文学 第二十五号

昭和五十九年十二月十五日 印刷

昭和五十九年十二月二十日 発行

編集 廣川勝美

発行 同志社大学国文学会

(代表) 玉井敬之

京都市上京区今出川通烏丸東入

振替 京都二七三七

印刷所 共同印刷工業株式会社

京都市右京区西院久田町